笹竜胆だより

教育目標「自ら考え　互いに助け合い　粘り強くやり抜く生徒」

令和５年度　阿木中学校通信　令和５年６月２６日

校　長　細 江 美 和

ホームページでは、生徒の名前は名字のみにしてあります

礼儀正しく、平和への学びを深めた三日間 ～3年生 広島・大阪への修学旅行～

台風２号の接近が心配される中、５月３１日（水）から６月２日（金）にかけて、関西方面へ修学旅行に行ってきました。事前学習から積極的に行い、実際に見聞きすることで「ヒロシマ」や平和についての学びを深めること、常にねらいを意識し、全員で協力して最高の姿をつくりあげることを大切にして取り組み、出かけました。

新幹線で広島駅に到着後は、みんなで広島名物のお好み焼きを食べ、平和記念公園で慰霊碑を巡りながら、ガイドさんから説明を聞きました。ガイドさんからお話をうかがわなければ無意識に通過してしまいそうな木、石碑、地面のくぼみ、平和への強い思いから工夫されている公園内の一つ一つのものの形や配置･･･どれをとっても、意味があり、「そういうことなんだな」と心に響きました。その後の平和記念資料館の見学、重ねての平和講話は、生きた教材として、これまで学んできたどんなものよりも子どもたちの心を揺さぶるものでした。胎内被爆者として生まれ、家族や周りの方から聞いたお話を語ってくださった石原さんは、「一番若い被爆者は、何歳だと思いますか」と質問されました。今年、７７歳になられる方が一番若いです。こうして目の前で語ってくださり、質問にも答えてくださる学習の機会は、この先もずっと続けられるものではありません。１５歳という時期の柔らかな感性で一人一人が受け止めたことが、この先も「平和」について考え続け、「平和」を作りだし、守っていくことのきっかけになるよう願っています。

学校を離れての修学旅行では、周りの人に気を遣うこと、仲間と協力すること、時間を意識して自分で考えて行動することなど、様々な場面がありました。３日目の大雨に備え、前日から少しずつ行程を変更することも必要でした。そんな中、いつも落ち着いて話を聞き、マナーを守って気持ちのよい姿で過ごすことができました。日頃の学校生活でのよさを存分に発揮した３日間でした。

活躍の紹介１

第４２回　少年の主張中津川市大会『わたしの主張 2023』

６月２０日（火）に、落合中学校にて、見出しの行事が開催されました。各中学校から１名ずつの代表者が参加し、当日、くじ引きで決まった順に発表しました。今年度の発表は、「社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案など」が５名、「家庭、学校生活、社会（地域活動）及び身の回りや友だちとの関わりなど」が７名と、２つのテーマに分かれました。

本校代表の **３年 竹山さん**は、**『犠牲の連鎖～望みの果て～』**と題して、平和学習や社会科の学びをベースに、ウクライナとロシアの戦争の終結への期待、G7 広島サミットに関わる核廃絶への強い思い、地球という一つの星としてつながっている以上、戦争は遠くで起きていることでも過去の出来事でもない、自分たちも含め、間接的であっても、どの人も関わっている出来事なんだという思いなどを「怒り」の感情と共に綴りました。そして、５分程度のその内容を覚え、時に穏やかに、時に語気を強めて語りました。

学級代表の決定、校内大会を経ての学校代表の決定と、順に進んでの当日でしたが、その間に修学旅行で広島へ行きました。原稿が仕上がってから「ヒロシマ」についての学びを更に深めているので、話す内容は変わっていませんが、実際に見聞きした思いが心の中にあり、話しぶりに表れていたように感じました。

岩久審査委員長（教育長）様から、「今この瞬間にも起こっている戦争という惨禍に対して、核保有国やその同盟国が核なき世界を語る矛盾を、若者らしい素直な感性で受け止めて、平和を希求する自らの考えと行動することの大切さを、身近な事例や嗅覚を駆使して、堂々と語ってくれました。（後略）」というコメントをいただきました。

活躍の紹介２

６月２４日実施　中津川市中学校総合体育大会（中体連）の結果

・男子バレーボール部　優勝（７月９日東濃大会出場）　・女子バレーボール部　市内大会敗退
・男子卓球部　団体：３位（７月８日東濃大会出場）
　本多・皮地・竹山・加藤・秋山・三宅・吉村
　個人：秋山　ベスト２４（７月９日東濃大会出場）
・女子卓球部　個人：土岐　ベスト１６（７月９日東濃大会出場）

★日頃から熱心なご指導をいただき、導いてくださった指導者の皆様、生徒の送迎、温かなご声援をいただきました部活動育成会の皆様、ありがとうございました。